



6月議会 一般質問

節木三千代県議は、7月3日、①医療機関、介護・障害者福祉サービス事業所への財政支援 ②パン・牛乳など学校給食関連事業所への支援 ③湖東記病院事件について一般質問。三日月大造知事、滝澤依子県警本部長に迫りました。

「医療機関の赤字に対して補てんを」の要望に応えよ



一般質問するふしき県議

ふしき県議はコロナ感染患者が入院する病棟の医療関係者の話を紹介。「防護服を脱ぐときは感染リスクが高く非常に緊張した。家族とは距離をおいている人も。病院経営を理由に夏のボーナスを減らす話があり、心おれそうだ」と。県病院協会の調査では、3月から5月までの3か月間の医療収益は昨年度比でも平均で1つの病院で2億2千万円もの減収になっています。ふしき県議は、医療機関の赤字に補てんするよう国に求めるとともに、県としても支援すべきと知事に迫りました。

知事は「さらなる支援を早急に国に要望していかなければならない」とし、「県内の医療機関がどういう状況か細かく把握していく」と答えました。

県保険医協会

6月3日知事あてに「歯科医・歯科技工所への支援」を要望

「アンケート調査で、開業医で4月の外来患者が前年同月比より減ったとの回答が9割。なかでも歯科は、医業収入が30~50%減が8割」「受診者、医療機関に支援が必要」

滋賀県病院協会

6月26日知事あてに支援を要望 県内病院収益 37億円減(3~5月)

「このままでは再流行する前に、県内の相当数の病院の経営破たんを招く恐れがある」

利用料の値上げは心苦しい

けれど職員も守らないといけないし。(介護事業所所長)

お世話になっているし。利用料が上がるのは困るけれども。(利用者の家族)

介護・障害者福祉サービス事業所の経営が悪化！

介護利用料値上げはやめ、国や県が財政支援を！

厚生労働省は、6月1日、介護事業所に、通所サービスおよびショートステイについてコロナによる介護報酬の臨時的措置を通達。利用者が同意すれば、利用料を値上げすることができ、介護報酬も引き上がるとしています。

ふしき県議は、「介護事業所の減収の要因はコロナであって、事業所の責任でも、利用者の責任でもない。事業所に対して、厚生労働省は、利用時間の短縮や、回数を減らせとか通達をしながら、何の補償もしてこなかった」と指摘し、国に財政支援を求めるとともに県としても支援をすべきと知事に迫りました。

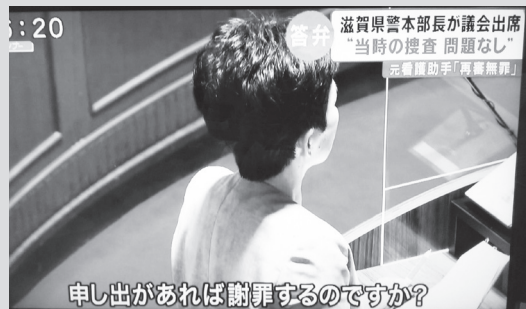
障害者短期入所の利用減、1ヶ月1000万円の減収に

県内の障害者福祉サービス事業所の短期入所への4月報酬は約3割減（前年同月比）です。ふしき県議は、県内の事業所で、4、5月で平均1000万円を超える減収があったことを紹介。このままでは、数少ないショートステイや、居宅介護サービスが立ち行かなくなると指摘。国に対して前年度と比較して減収分を補てんするとともに、県としても独自支援をすべきと知事に求めました。

湖東記念病院事件、再審無罪判決

関西テレビで放映「本人に謝罪するのが『人の道』ではないか！！」

湖東記念病院事件と呼ばれる身に覚えのない容疑で懲役12年の刑が確定し、服役を終えた西山美香さんに対し、今年3月31日大阪地方裁判所は、再審公判で無罪判決を言い渡しました。先日お会いした西山美香さんは、一言「許せない」と。



取り調べた刑事に好意を持った西山さんを利用して自白内容を思うように操り、供述調書を本人が確認することなく つくりあげてきた滋賀県警への組織的なやり方への怒りが、次から次へと語られました。私は、滝澤依子県警本部長に対して西山さん本人とご家族に会って、謝罪するよう求めましたが、本部長は「申し出があれば」とどまりました。「西山さんは当時24歳ですよ。大切な青春がうばわれた。直接本人に謝罪する。それが人の道というものではないか」と迫りました。さらに滋賀県警は二度と冤罪を生み出すことがないように徹底的に検証をすべきです。当日、関西テレビで1部放映されました。(ふしき)

生活相談会をおこなっています。

毎月 第1.3月曜日 午後3~5時まで

場所：ふしきみちよ事務所 無料・秘密厳守

2020年7月7日 発行：ふしきみちよ事務所 大津市末広町4の4 Tel・Fax 077-523-0334

メール mfushiki@beach.ocn.ne.jp

ふしきみちよ公式ホームページ <http://fusiki.huu.cc/>

ふしき みちよ

検索